ＪＲ総連通信

２０２２年１０月２６日　№１５８

全日本鉄道労働組合総連合会（ＪＲ総連）　http://www.jr-souren.com

ＪＲ総連は10月24日、ＪＲ総連推薦議員懇談会「２０２２年度定期総会」を都内にて開催し、所属する多くの国会議員、秘書のみなさまの出席により、方針案（活動経過報告、今後の取り組み、新事務局体制）について満場一致で承認されました。

冒頭、ＪＲ総連推薦議員懇談会共同代表の末松義規衆議院議員（東京19区）より、一年間の取り組みを振り返るとともに、ローカル線存続と憲法９条を守り抜くために、ＪＲ総連と連携をはかっていくとの力強い挨拶が述べられました。

続いて、ＪＲ総連より山口委員長から「憲法改悪と軍事大国化にむけた危うい政治の動向に対して推薦議員懇談会の先生方と共に反対のうねりをつくり、ローカル線存続の取り組みをはじめ、政策課題の実現にむけてご協力を要請する」と挨拶を述べました。

また、新事務局体制については、新たに参議院議員・徳永エリ氏、牧山ひろえ氏を迎え、共同代表は６名体制となりました。

最後に、特別報告として「ローカル線の現状と今後の課題」について、小林事務局次長より問題提起をおこない、課題認識について一致をはかり、2022年度定期総会は成功裡に終了しました。

新事務局体制

共同代表	小宮山　泰子	衆・埼玉７区
共同代表	篠原　　孝	衆・長野１区
共同代表	末松　義規	衆・東京19区
共同代表	福田　昭夫	衆・栃木２区
共同代表	徳永　エリ	参・北海道
共同代表	牧山　ひろえ	参・神奈川
事務局長	田城　　郁	前参議院議員
事務局次長	小林　陽介	ＪＲ総連政策政治部長

（衆・参５０音順）